地域密着型通所介護

令和８年度 第２回 運営推進会議開催報告書

上半期（4 月～9 月）運営状況・活動結果報告

事業所名： デイサービスセンター南紀
法人名： 社会福祉法人 南紀白浜福祉会
所在地： 和歌山県西牟婁郡白浜町富田 1703 番地
開催日時： 令和 8 年 10 月 28 日（水）10 時 30 分～
開催場所： 特別養護老人ホーム　成実園内
出席者： 白浜町職員、利用者代表、利用者家族代表、事業所職員等
報告対象期間： 令和 8 年 4 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日

1. 会議の目的

地域密着型通所介護事業所として、上半期の運営状況、利用者の受け入れ状況、活動内容、安全管理および感染症・災害対策等について報告し、委員の皆様からご意見・ご助言をいただくことで、サービスの質の向上と地域に開かれた事業所運営を図ることを目的として開催しました。

2. 上半期の運営状況

令和 8 年度上半期の利用状況について、以下のとおり報告した。

項目	令和 7 年度下半期	令和 8 年度上半期	増減
登録者数	50 名	55 名	＋5 名
1 日平均利用者数	14.7 名	14.5 名	－0.2 名
平均稼働率	約 82%	約 80%	－2%
新規利用者数	10 名	17 名	＋7 名
利用終了者数	12 名	7 名	－5 名

新規利用者 17 名を受け入れ、入院や施設入所等による利用終了者は 7 名となりました。登録者数は前期と比較して 5 名増加。1 日平均利用者数は 14.5 名、平均稼働率は約 80%となりました。

利用者の状態や希望に応じたサービス提供に努めるとともに、ケアマネジャーやご家族、関係機関との情報共有を行い、新規利用者の受け入れと稼働率の維持・向上に取り組みました。

3. 主な取り組みと活動実績

(1) 中重度の利用者への対応

上半期は中重度の利用者 6 名を受け入れ。
利用前の情報収集と状態確認、看護職による健康管理、職員間の情報共有、利用者の状態に応じた介助方法や職員配置の調整を行い、安全なサービス提供に努めた。
今後も利用者一人ひとりの身体状況や医療的な対応の必要性を把握し、関係職種と連携しながら、安心して利用できる体制づくりを進める。

(2) 季節行事・レクリエーション

花見ドライブ、生クリームサンド作り、園庭での食事会、ミルクレープ作り、紫陽花ドライブ、地域交流会、コスモス壁画作り、敬老会等を実施した。
利用者が季節を感じながら、他の利用者や地域の方々と交流できる機会を設けた。活動中には笑顔や会話が多く見られ、「楽しかった」「またしたい」などの感想も聞かれた。
今後も身体状況に応じて無理なく参加できる活動を工夫し、利用者の楽しみや交流の機会を確保する。

(3) 地域・関係機関との交流

第 2 ケアハウス南紀との交流、近隣地域の方々との交流会、大学生 1 名の介護等体験の受け入れを実施。
地域住民や学生等、普段とは異なる人々と関わることで、利用者の交流機会の拡大につながった。
今後も地域とのつながりを大切にし、利用者が地域社会との関わりを持てる機会を検討する。

4. 安全管理・事故防止の取り組み

上半期の事故およびヒヤリハットの発生状況について、以下のとおり報告した。

項目	件数
事故	12 件
ヒヤリハット	5 件
うち送迎関係	3 件
うち入浴関係	4 件
うち食事関係	1 件
うちその他	4 件

※送迎関係、入浴関係、食事関係、その他の件数は事故の内訳として整理している。

事故・ヒヤリハット発生時には、職員間で情報共有を行い、原因確認と再発防止策の検討に取り組んだ。また、利用者の身体状況に応じた見守りや介助方法の見直し、送迎・入浴・食事での安全確認、環境および福祉用具の点検を実施した。
今後も発生事例を検証し、職員間で注意点を共有することで、事故の再発防止と安全なサービス提供に努める。

5. 感染症対策・災害への備え

感染症対策として、手洗い・手指消毒の徹底、施設内の環境整備、利用者の健康状態の確認、感染症発生時の対応方法の確認等を実施した。
上半期において、特に大きな集団感染の発生はなかった。
また、自然災害発生時の対応、職員間の連絡体制、避難誘導等について確認し、事業継続計画（BCP）に基づく対応体制の整備に取り組んだ。
今後も感染症や自然災害の発生に備え、訓練や対応手順の確認を継続し、利用者の安全確保と事業継続に努める。

6. 職員研修・委員会活動

上半期は、感染対策委員会、食中毒予防研修、火災訓練、虐待防止委員会、ハラスメント研修、防災委員会等を実施した。
感染症予防及びまん延防止のための指針の確認・見直し、虐待防止および不適切ケアの発生状況の確認、自然災害発生時の対応等について、職員間で共有した。
今後も職員研修と委員会活動を継続し、知識・技術の向上と適切なサービス提供に努める。

7. 委員からの主な意見・質問と事業所の対応方針

（1）ボランティア募集について

委員からの意見：

白浜町職員より、白浜町公民館や児童館でサークル活動が行われているため、ボランティア活動への協力について問い合わせてみてはどうかとの提案があった。

事業所の対応方針：

公民館や児童館等の関係機関に活動内容を問い合わせ、囲碁・将棋、折り紙、手芸、茶話会等、利用者が楽しめる交流活動への協力を検討する。

（2）男性利用者の交流機会について

委員からの意見：

利用者代表より、女性利用者の割合が多いことから、男性利用者にも利用してもらい、同世代の方々との交流を広げたいとの意見があった。本人もトランプや将棋等を

通じて他の利用者との交流を楽しんでおり、事業所として男性利用者への利用案内や周知を進めてほしいとの要望があった。
白浜町職員からも、町への相談等については男性より女性の割合が多いとの発言があった。

事業所の対応方針：

男性利用者も参加しやすい趣味活動や交流の機会を工夫するとともに、ケアマネジャーや関係機関に対して事業所の活動内容や受け入れ状況を周知し、利用者の増加につなげる。

（3）難聴のある利用者へのコミュニケーションについて

委員からの意見：

利用者家族より、本人は難聴により人との交流が難しいため、デイサービスを利用している間は会話や人との関わりを持てる事業所であってほしいとの意見があった。高齢者にとって孤独はつらいものであり、温かい交流を継続してほしいとの要望があった。

事業所の対応方針：

本人の疼痛等の身体状況に配慮しながら、文字変換アプリを活用したコミュニケーションやアイコンタクト等、本人に合った方法で意思疎通を図っていることを説明した。
また、ベッド上で休まれている時間も、可能な範囲で他の利用者と同じ空間で過ごせるよう環境を整え、上半身の体操やレクリエーション等への参加機会を確保していることを報告した。
今後も本人の状態や希望を確認しながら、孤立を防ぎ、安心して他者と交流できる支援を継続する。

8. 上半期の課題と下半期の取り組み

上半期の運営状況を踏まえ、下半期は以下の項目を重点的に取り組むこととした。

1. **利用者数・稼働率の維持向上**
   1日平均利用者数15名以上、稼働率80%以上を目標とし、新規利用者の受け入れと関係機関との連携を進める。
2. **中重度の利用者への対応**
   利用者の状態に応じた職員配置や介助方法を工夫し、安全に受け入れられる体制を整える。
3. **事故・ヒヤリハットの削減**
   発生原因を確認し、職員間で情報共有を行うことで、再発防止と安全管理の強化を図る。

4. **交流活動の充実**
   季節行事やレクリエーションに加え、男性利用者も参加しやすい趣味活動等を検討する。
5. **地域・関係機関との連携強化**
   公民館や児童館等へのボランティア協力の相談を検討するとともに、ご家族、ケアマネジャー、医療機関、地域住民との連携を継続する。

9. まとめ

本会議では、令和８年度上半期の運営状況および活動実績について報告するとともに、安全管理、感染症対策、災害への備え、地域交流等について意見交換を行った。
委員からは、ボランティア活動の拡充、男性利用者の交流機会の確保、難聴のある利用者へのコミュニケーション支援等について意見・要望があった。
事業所として、いただいた意見を今後の運営に反映し、利用者一人ひとりの身体状況や希望を尊重しながら、安心して楽しく過ごせるサービスの提供に努める。
今後も地域とのつながりを大切にし、「また来たい」と思っていただけるデイサービスを目指して取り組んでいく。

次回開催予定：令和９年４月頃

議題：令和８年度下半期（10 月～3 月）の運営状況および年間の取り組み結果について

以上